

熊本大学シラバス

基本情報

授業科目名	(日)	副作用被害・医療訴訟特論		
	(英)			
時間割コード	06010	開講年次	1年	
学期	後期	曜日・時限	他	
講義題目				
担当教官	高濱 和夫、白崎 哲哉、有蘭 幸司、原田 幸一			
科目コード	6923250060	科目分類		
選択/必修	選択必修	単位数	2	

詳細情報

授業形態	講義形式
授業の目標	<p>医薬品は疾病に対して治療効果をもつが、副作用を併せ持つ。また、その副作用が、服用を中止することによって消失する、言わば、可逆的な場合は、大きな問題となりにくい、不可逆的な場合は、人の健康に重篤な障害をもたらす、いわゆる薬害となることもある。本授業の目標は、薬のもつ負の側面について、副作用や薬害について、さらには、化学物質の生体影響という観点から関連する公害病などについて薬学および社会科学的理解を深めることである。それを通して、人の健康における医薬品や化学物質の在り方と、この課題に対する薬学人の取り組み方や態度は如何にあるべきかについて考える。</p>
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の安全性と副作用 (4回) 2. 医薬品情報の収集と取扱 (2回) 3. 薬害の歴史 (3回) 4. 薬害の発生メカニズム (3回) 5. 薬害の防止 (1回) 6. 環境問題と公害 (2回) <p>()内の数字は、講義回数(1回90分)の目安を示す</p>
キーワード	医薬品、医薬品の安全性、副作用、医薬品情報、薬害、環境問題、ソリブジン、クロロキン、サリドマイド、水俣病、イタイイタイ病、油症
テキスト	必要に応じて、講義時間に紹介する。
参考文献	特になし。
評価方法・基準	講義の出席状況と、与えた課題に対するレポートの内容により評価する。
履修上の指導	薬学部、大学院薬学教育部のカリキュラムでは、薬の効能の面に力が入れられがちであるが、薬の専門家である薬学教育部の修了生には、その負の側面である有害作用や副作用、さらには薬害に対して正しい認識をもつことの重要性を訴え、理解させる。
事前学習	特に必要としない。
事後学習	講義終了後、ノートを整理することを奨める。また、この講義を受けた後は、医薬品の副作用や薬害・公害について、新聞を始め、マスコミ報道にも耳を傾ける習慣を身につけて欲しい。